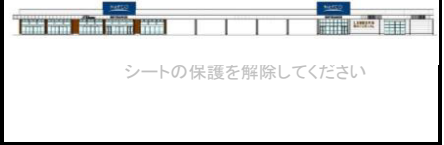


CASBEE®-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	ホームプラザナフコ東八代店 増築	階数	1
建設地	熊本県八代市海士江町字下城2738	構造	S造
用途地域	指定なし	平均居住人員	0 人
地域区分	7地域	年間使用時間	1,960 時間/年(想定値)
建物用途	物販店	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2022年7月 予定	評価の実施日	2022年7月1日
敷地面積	29,011 m ²	作成者	荒井 紀磨
建築面積	9,786 m ²	確認日	2022年7月1日
延床面積	9,634 m ²	確認者	



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.8 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ★★★★★ 60%: ★★★★★ 80%: ★★★★★ 100%: ★★★★★ 100%超: ★

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.7

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.9

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.0

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.2

LR のスコア = 2.9

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.1

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.7

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.0

3 設計上の配慮事項

重点事項総合評価

評価点 = 68


重点事項1: 温室効果ガス排出量削減の推進 評価点 = 75.5	重点事項2: 安全安心で暮らしやすい社会の実現 評価点 = #####
重点事項3: 県の地域資源の有効活用と保全 評価点 = 60.0	重点事項4: 循環型社会の実現 評価点 = 66.7

重点事項の評価(レーダーチャート)

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

CASBEE® 熊本《新築》【性能表示】

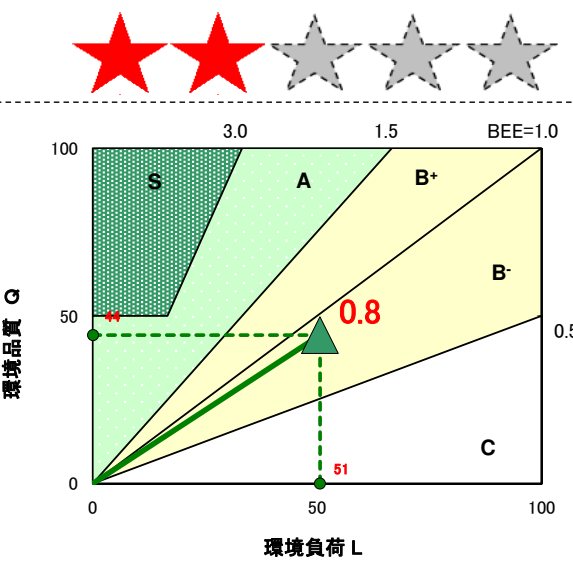
■ 建物概要			■ 外観	
建物名称	ホームプラザナフコ東八代店 増築	階数	1	
建設地	熊本県八代市海士江町字下城2738	構造	S造	
用途地域	指定なし	平均居住人員	0 人	
気候区分	7地域	年間使用時間	1,960 時間/年	
建物用途	物販店	評価の段階	実施設計段階評価	
竣工年	2022年7月 予定	評価の実施日	2022年7月1日	
敷地面積	29,011 m ²	作成者	荒井 紀磨	
建築面積	9,786 m ²	確認日	2022年7月1日	
延床面積	9,634 m ²	確認者		



【外観図】シートへ貼り付けてください。

1 CASBEE評価結果

■ 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)



環境品質 Q

環境負荷 L

BEE = 0.8

■ BEE(環境効率) = $\frac{Q(\text{環境品質})}{L(\text{環境負荷})}$


■ 環境効率評価基準

ランク	ランク表示	評価	判定値	
			BEE値	Q値
S	★★★★★	素晴らしい	3.0以上	50以上
A	★★★★	大変良い	1.5以上3.0未満	—
B+	★★★	良い	1.0以上1.5未満	—
B-	★★	やや劣る	0.5以上1.0未満	—
C	★	劣る	0.5未満	—

■ ライフサイクルCO₂ 排出性能評価基準

判定値(排出率)	ランク表示
30%以下	★★★★★★
30%超60%以下	★★★★★
60%超80%以下	★★★★
80%超100%以下	★★★
100%超	★

■ ライフサイクルCO₂排出性能(ランク表示)




排出率

75%

2 熊本県重点評価結果

■ 重点事項総合評価



評価点

68

【重点事項1】 温室効果ガス排出量削減の推進

【重点事項2】 安全安心で暮らしやすい社会の実現






【重点事項3】 県の地域資源の有効活用と保全

【重点事項4】 循環型社会の実現

評価点

75.5
61.2
60.0
66.7

■ 熊本県重点評価基準

判定値(評価点)	ランク表示
100点以上	
80点以上100点未満	
60点以上80点未満	
40点以上60点未満	
40点未満	

※評価点は、100点以上が推奨です。

CASBEE® 熊本《新築》【配慮事項】

4 設計上の配慮事項

総合

バリアフリー基準、省エネルギー基準を満たし、人と環境に配慮した建物である。

Q1 室内環境

利用者に配慮し、F☆☆☆☆を使用している。

Q2 サービス性能

清掃しやすい内装材を使用し、壁長さ比率を小さくすることにより、空間にゆとりをもたせている。

Q3 室外環境（敷地内）

緑地を設けることにより、良好な景観を形成した。

LR1 エネルギー

LED照明を使用し、省エネルギー性を高めている。

LR2 資源・マテリアル

自動水栓などの省水型機器を用いるなど、水資源を保護している。

LR3 敷地外環境

駐輪・駐車場を確保し、利便性に配慮している。
ペースの確保をするなど交通負荷抑制に配慮している。

搬入車両用ス

その他

熊本県重点評価結果スコアシート

実施設計段階

建物名称 ホームプラザナフコ東八代店 増築工事

■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

■使用評価マニュアル: CASBEE熊本《新築》2017年版

★熊本県重点評価結果				総合評価点		68
重点事項				評価点	重点事項 重み係数	評価配点
重点項目(配慮項目)		スコア	重み 係数			
① 温室効果ガス排出量削減の推進				75.5	0.40	30.20
Q1-2.1.2	外皮性能	3.0	0.05			
Q1-3.1.3	昼光利用設備	3.0	0.05			
Q1-3.2.1	昼光制御	3.0	0.05			
LR1-1	建物外皮の熱負荷抑制	1.0	0.15			
LR1-2	自然エネルギー利用	3.0	0.20			
LR1-3	設備システムの高効率化	4.4	0.30			
LR2-2.1	材料使用量の削減	2.0	0.10			
LR3-2.3.3	交通負荷抑制	3.0	0.10			
② 安全安心で暮らしやすい社会の実現				61.2	0.20	12.24
Q2-1.1.3	バリアフリー計画	3.0	0.25			
Q2-2.1.1	耐震性	3.0	0.25			
Q3-1	生物環境の保全と創出	1.0	0.15			
Q3-3	地域性・アメニティへの配慮	2.5	0.20			
LR3-2.2	温熱環境悪化の改善	2.0	0.15			
③ 県の地域資源の有効活用と保全				60	0.20	12.00
Q3-2	まちなみ・景観への配慮	3.0	0.20			
LR2-1.1	節水	4.0	0.30			
LR2-1.2.1	雨水利用システム導入	3.0	0.20			
LR2-2.5	持続可能な森林から産出された木材	0.0	0.30			
④ 循環型社会の実現				66.7	0.20	13.34
Q2-2.2	部品・部材の耐用年数	2.8	0.30			
Q2-3	対応性・更新性	3.1	0.30			
LR2-2.2	既存建築躯体等の継続使用	3.0	0.10			
LR2-2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	3.0	0.15			
LR2-2.4	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	1.0	0.15			

■評価点算出式

評価点は、以下の方法により算出しています。

◆総合評価結果

総合評価点 = (各重点事項の評価点 × 各重点事項の重み係数) の総和
※重み係数の総和は、「1」であること。

◆各重点事項(①～④の項目)

評価点 = (各重点項目のスコア × 各重点項目の重み係数) の総和 × (5/4) × 20
※重み係数の総和は、「1」であること。
※(5/4) × 20 : スコア4点を評価点100点に変換するスケーリング定数

CASBEE-建築(新築)2016年版
ホームプラザナフコ東八代店 増築工事

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版

欄に数値またはコメントを記入 ■評価ソフト:

CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

スコアシート		実施設計段階		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体
Q 建築物の環境品質										2.7
Q1 室内環境							0.40		-	2.9
1 音環境						2.6	0.15		-	2.6
1.1 室内騒音レベル						3.0	0.40		3.0	
1.2 遮音						3.0	0.40		-	
1 開口部遮音性能						3.0	1.00		3.0	
2 界壁遮音性能						3.0	-		3.0	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)						3.0	-		3.0	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)						3.0	-		3.0	
1.3 吸音						1.0	0.20		3.0	
2 温熱環境						2.6	0.35		-	2.6
2.1 室温制御						3.0	0.50		-	
1 室温						3.0	0.50		3.0	
2 外皮性能						3.0	0.17		3.0	
3 ゾーン別制御性						3.0	0.33		-	
2.2 湿度制御						1.0	0.20		3.0	
2.3 空調方式						3.0	0.30		3.0	
3 光・視環境						3.0	0.25		-	3.0
3.1 昼光利用						3.0	0.50		-	
1 昼光率						3.0	-		3.0	
2 方位別開口						3.0	-		3.0	
3 昼光利用設備						3.0	1.00		3.0	
3.2 グレア対策						-	-		-	
1 昼光制御						3.0	-		3.0	
3.3 照度						3.0	-		3.0	
3.4 照明制御						3.0	0.50		3.0	
4 空気質環境						3.7	0.25		-	3.7
4.1 発生源対策						4.0	0.50		-	
1 化学汚染物質		F☆☆☆☆を使用している。				4.0	1.00		3.0	
4.2 換気						3.0	0.30		-	
1 換気量						3.0	0.50		3.0	
2 自然換気性能						3.0	-		3.0	
3 取り入れ外気への配慮						3.0	0.50		3.0	
4.3 運用管理						4.0	0.20		-	
1 CO ₂ の監視						3.0	0.50		-	
2 喫煙の制御		全館禁煙となっている。				5.0	0.50		-	
Q2 サービス性能						-	0.30		-	3.0
1 機能性						3.1	0.40		-	3.1
1.1 機能性・使いやすさ						3.0	0.40		-	
1 広さ・収納性						3.0	-		3.0	
2 高度情報通信設備対応						3.0	-		3.0	
3 バリアフリー計画						3.0	1.00		-	
1.2 心理性・快適性						4.0	0.30		-	
1 広さ感・景観		売場の天井高3.6m以上。				5.0	0.50		3.0	
2 リフレッシュスペース						-	-		-	
3 内装計画						3.0	0.50		-	
1.3 維持管理						2.5	0.30		-	
1 維持管理に配慮した設計						3.0	0.50		-	
2 維持管理用機能の確保						2.0	0.50		-	
2 耐用性・信頼性						2.7	0.30		-	2.7
2.1 耐震・免震・制震・制振						3.0	0.50		-	
1 耐震性(建物のこわれにくさ)						3.0	0.80		-	
2 免震・制震・制振性能						3.0	0.20		-	
2.2 部品・部材の耐用年数						2.8	0.30		-	
1 躯体材料の耐用年数						3.0	0.20		-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔						2.0	0.20		-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔						3.0	0.10		-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔						3.0	0.10		-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔						3.0	0.20		-	
6 主要設備機器の更新必要間隔						3.0	0.20		-	
2.4 信頼性						2.0	0.20		-	
1 空調・換気設備						1.0	0.20		-	
2 給排水・衛生設備						2.0	0.20		-	
3 電気設備						3.0	0.20		-	
4 機械・配管支持方法						1.0	0.20		-	
5 通信・情報設備						3.0	0.20		-	

3 対応性・更新性			3.1	0.30	-	-	3.1
3.1 空間のゆとり			3.4	0.30	-	-	
1	階高のゆとり	階高3.9m以上。	5.0	0.60	3.0	-	
2	空間の形状・自由さ	壁長さ比率=0.04893	1.0	0.40	3.0	-	
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.30	3.0	-	
3.3 設備の更新性			3.0	0.40	-	-	
1	空調配管の更新性		3.0	0.20	-	-	
2	給排水管の更新性		3.0	0.20	-	-	
3	電気配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
4	通信配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
5	設備機器の更新性		3.0	0.20	-	-	
6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	2.2
1 生物環境の保全と創出			1.0	0.30	-	-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			2.5	0.30	-	-	2.5
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			3.0	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上			2.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	2.9
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	3.1
1 建物外皮の熱負荷抑制		建物の断熱を適切に配慮し、外部からの熱負荷も配慮。	1.0	0.20	-	-	1.0
2 自然エネルギー利用			3.0	0.10	-	-	3.0
3 設備システムの高効率化		[BEI][BEIm] = 0.73	4.4	0.50	-	-	4.4
4 効率的運用			2.0	0.20	-	-	2.0
集合住宅以外の評価			2.0	1.00	-	-	
4.1	モニタリング		3.0	0.50	-	-	
4.2	運用管理体制		1.0	0.50	-	-	
集合住宅の評価			-	-	-	-	
4.1	モニタリング		3.0	-	-	-	
4.2	運用管理体制		3.0	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	2.7
1 水資源保護			3.4	0.20	-	-	3.4
1.1 節水		節水型便器を使用している。	4.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60	-	-	
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70	-	-	
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			2.4	0.60	-	-	2.4
2.1 材料使用量の削減			2.0	0.11	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.22	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		-	3.0	0.22	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		-	1.0	0.22	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材			-	-	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み			3.0	0.22	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.0	0.20	-	-	3.0
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.30	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避			3.0	0.70	-	-	
1	消火剤		-	-	-	-	
2	発泡剤(断熱材等)		3.0	1.00	-	-	
3	冷媒		-	-	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.0
1 地球温暖化への配慮		ライフサイクルCO2排出率74%	4.0	0.33	-	-	4.0
2 地域環境への配慮			2.3	0.33	-	-	2.3
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善			2.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			2.5	0.25	-	-	
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-	
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3	交通負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
4	廃棄物処理負荷抑制		1.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮			2.7	0.33	-	-	2.7
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	
1	騒音		3.0	1.00	-	-	
2	振動		-	-	-	-	
3	悪臭		-	-	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制			3.0	0.40	-	-	
1	風害の抑制		3.0	0.70	-	-	
2	砂塵の抑制		3.0	-	-	-	
3	日照阻害の抑制		3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制			1.6	0.20	-	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		1.0	0.70	-	-	
2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	